

# お知らせ

INFORMATION

No.2016-24

2016年8月

病体生理研究所

## 新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【新規受託開始について】

- ◆ ペランパネル〔16803〕  
※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2016年9月12日（月）より

【新規項目情報】

項目名称	ペランパネル (抗てんかん薬血中濃度)
コード	16803
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.3mL
保 存	絶凍
採取容器	No.11 → No.7
検査方法	LC-MS/MS
基準値・単位	設定無し ng/mL
所要日数	4～7日
実施料 (区分)	470 点 (B001 2 特定薬剤治療管理料) *1
主な商品名	フィコンパ®錠
備 考	*1 てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定できます。 てんかん重積状態（全身性けいれん発作重積状態）の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を特定薬剤治療管理料として算定します。

ペランパネル（フィコンパ®）は日本において開発され、本年3月に製造販売承認された最も新しい抗てんかん薬です。

本剤は選択的AMPA ( $\alpha$ -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazolepropionic acid) 型グルタミン酸受容体 (AMPA受容体) 拮抗剤であり、既存の抗てんかん薬とは異なる作用機序を持つため、効果が乏しい症例での有効性が期待されています。

グルタミン酸は中枢神経シナプスにおいて主要な神経伝達物質の一つであり、その受容体にはいくつかのタイプが存在しますが、AMPA型受容体はイオンチャンネル型グルタミン酸受容体としてシナプス後膜に主として存在します。

AMPA受容体はてんかん波や神経細胞間のシグナル伝達などに大きな役割を果たしていると考えられていますが、本剤はそれらに拮抗し抑制することにより抗てんかん作用を発揮するため、既存の抗てんかん薬の作用機序である神経興奮性抑制および抑制系賦活化効果と異なる新しいメカニズムにより効果を発揮する唯一の薬剤です。

なお、本剤は「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作）、強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法」において効果・効能が認められています。

軽度および中等度の肝機能障害のある患者ではクリアランス機能の低下により代謝が延長する可能性が示唆されておりますので、血中濃度の測定によるモニタリングは有用と考えられています。

以上